

## 女性管理職が語る

# リーダーから始める効率化

「自分らしく働きたい」。私が学生だった時に就職活動の軸としていたことです。人の心を動かす、お客様・得意先・会社の3者の便益につなげることが求められる仕事にひかれ、営業という職種を選びました。

入社してしばらくは優先順位を意識することなく目の前にある仕事にひたすらまい進しました。仕事から得る学びは大きく、自分のキャリアを続けつつ、家庭も問題なく両立できるだろうと考えていました。

しかし、出産後に復職してみると、今までと同じようには働けない現実

に直面し、仕事最優先の働き方を見つめなおす必要が出てきました。模索

した結果、どの業務を優先して進めるべきかを常に意識し、その優先順位

を上司とも確認する習慣が身に付き、新しい自分

なりの働き方にたどり着きました。

リーダーとなった今、ワーク・ライフ・バランスの向上を部下に促し、

組織内で浸透させるために2つのことに力を入れています。

本部統括営業 P&G ジャパン アソシエイトディレクター

市川 薫氏



いちかわ・かおる 1997年、プロクター・アンド・ギャンブル・ファーマシー・ストインク(現P&Gジャパン)入社。2017年から店頭販促支援のアソシエイトディレクター。

オフィス以外での勤務が可能な在宅勤務制度や、日々の始業・終業時刻を自身で決定できるフレックスクス勤務制度などです。育児や介護などの理由がなくても誰もが利用できるのです。上司が積極的にこれらを活用し、「誰もが利用しやすい」職場環境を作り出すことは組織にとってとても重要です。管理職が前例をつくることで利用を迷っていない部門を押し出すことができます。

私はワーク・ライフ・

バランスを1つのビジネスとプライベートにおける戦略だと捉えています。充実したワーク・ラ

イフ・バランスは、優れた人材をひきつけ、革新的なアイデアを生み出して組織を活性化します。

結果として組織強化やビジネスの長期的な成長にも貢献できるのです。

現在、私はスーパーやドラッグストアの店頭販促を支援する組織を統括しており、チームメンバーと充実した日々を過ごしています。一方、プライベートでは子供の成長や趣味の阿波踊りなどから日々大きなエネルギーをもらっています。仕事

ではないでしょうか。

Life Better Work」であり、ライフとワークはどちらも人生を豊かにする重要な要素だと思います。どちらかに偏るのではなく、最適なバランスで両方を楽しむ。変わりゆく人生の各ステージにおいて、その都度どのようにバランスをとるかを決めています。

一方、プライベートでは子供の成長や趣味の阿波踊りなどから日々大きなエネルギーをもらっています。仕事

ではないでしょうか。

私はワーク・ライフ・

バランスを1つのビジネスとプライベートにおける戦略だと捉えています。充実したワーク・ラ

イフ・バランスは、優れた人材をひきつけ、革新的なアイデアを生み出して組織を活性化します。